



小樽出身の荒木聡さんは 80 年代から札幌を拠点にアニメやビデオゲームをテーマにした同人活動を始めました。その後、パソコン通信を使ったコミュニティを軸に、様々なサブカル活動に仲間たちと共に携わります。並行してオリジナル小説の執筆や DTM を使った音楽制作も行ってきました。これらの活動のひとつである「ゲーム同人誌」は小樽文学館で開催した一連のビデオゲーム展の中で紹介しました。2022 年末の荒木さんの急逝を受けて、追悼の意味を含めた荒木さんのサブカル活動の一部についての展示を行います。荒木さんの活動を通して、昭和後期から平成にかけての同人文化の一端をひもときます。

『アディンセル・キャンペーン』
(1992 年)



『おーるらうんど3号』(1985 年)

【展示内容】

荒木さんが関わった活動の一部を年代順に展示します。

<80 年代>

- ・荒木さんの投稿が掲載された雑誌・同人誌など
- ・荒木さんが代表を務めた「札幌南無児村青年団」「HAM」制作のゲーム同人誌

<80 年代末～90 年代>

- ・仲間たちと一緒に取り組んだ様々な活動の資料
(パソコン通信個人 BBS、パズル雑誌ファン活動、TRPG イベント、SF ファン集会、パロディーテープ、同人誌など)
- ・オリジナル小説

<2000 年代>

- ・荒木さんが作詞作曲した『初音ミク』の楽曲についての資料

<2022 年>

- ・小樽駅近辺の学校寄り道ルート (80 年代)
- ・荒木さんが制作した最後の本『おーるらうんど特別号』

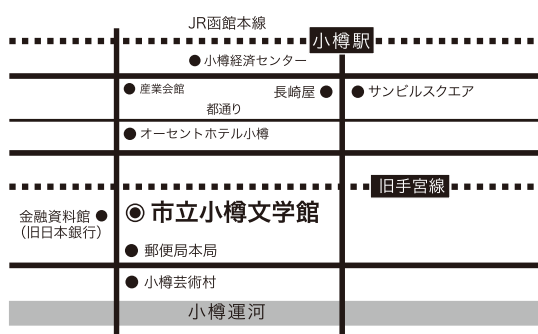
荒木聡 あらき さとし

1965 年 3 月、小樽市生まれ。1982 年 10 月 1 日、漫画のための画材購入から創作の道へ。「裂けたキャンバス」名で様々な投稿雑誌の常連として名を馳せる。この名をアレンジして「JOSCA」名が生まれた [JO (放送コールサイン) + Split CAnvas]。翌年、ゲーム同好サークル「札幌南無児村青年団(後に HAM と改称)」創設に参加し、1984 年 11 月、同人誌『おーるらうんど』創刊。攻略主流の風潮に背を向けた奔放な作風で注目され、2 年半程で別冊を含む計 8 冊を発行する。1989 年 2 月頃、パソコン通信個人 BBS「Fairy-NET」開設。これを起点に、同人誌の企画・執筆や、SF ファン集会、TRPG イベント協力、DTM、更にはパロディーテープ等々、多彩な分野で活動と交流の幅を広げた。インターネット普及後は私的創作や後進のサポートへ軸足を移す傍ら、長編小説応募、「ミユキスト P」とまで称された初音ミクでの作曲など、多方面にわたる創作の源泉は湧き続けた。2021 年からの小樽文学館での展示から初期の活動が再び注目され、2022 年 9 月、35 年振りの『おーるらうんど』特別号を発行し、今後のゲーム文化に迫る新たな創作にも着手したが、同年 12 月、急逝。享年 57。

市立小樽文学館

〒047-0031 小樽市色内 1-9-5 tel.fax. 0134-32-2388

JR 小樽駅から徒歩 10 分 P 有り



公式 Twitter で
最新情報発信中！

